

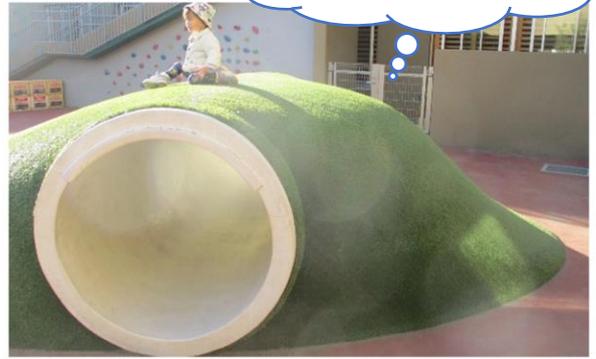
世田谷保育園の築山

世田谷保育園の園庭には大きな築山があり、みんな大好きな遊び場になっています。そんな築山での年齢別の遊び方をご紹介します。

うしろは急な斜面



前はなだらかな斜面



0歳児クラス

月齢によって動きの違う0歳児クラス。1歳の誕生日を迎えるころには自分で築山に登れている子もいます。芝生の感触を楽しんだり、トンネルを覗いて保育士とバァー！顔を見合わせてみたり…。日々いろいろな遊び方や楽しさを探索、発見しています。

1歳児クラス

1歳児クラスでは、手をついて四つん這いや歩行で登り、自分の力で登りきることの楽しさを味わっています。春頃は保育士の手を借りて登っていた子も、秋頃には1人で登れるようになりました。四肢を鍛えることで、怪我のしづらい身体作りにも繋がっています。

2歳児クラス

自分の力でスイスイ登れるようになってきました。体幹やバランス感覚も少しずつついてきています。みんなで山の上でピクニックごっこ！等ごっこ遊びの場所にもなっています。後ろ側、少し急な斜面から滑り降りるのもお手の物です。



3歳児クラス

身のこなしもしっかりしてきました。築山の後ろ側、より角度のついた斜面を駆け上がって楽しんでいます。なかなか登り切れないこともあるけれど、助走をつけて何度もチャレンジしています。少し難しいからこそ、頑張る気持ちも湧いてきます。チャレンジすればするほど、できた時の達成感を味わえます！



4歳児クラス

築山の後ろ側の斜面を勢いよく登り、成功することも増えてきました。時には、お友だちと協力して登ることもあります。山の上にいる子が手を伸ばし、駆け上がる子はその手を掴み、よいしょ！

上で引っ張ったり、踏ん張る力、お友だちの手をしっかりと握り、さらに上がろうとする力、これまでに培ってきた力を発揮しています。

お友だちと一緒に頑張ることも“楽しい”と感じる瞬間です。



5歳児クラス

たくさん遊んできた築山。5歳児クラスともなると、保育士よりも子どもたちのほうが築山遊びのプロになっています。ある日は、トンネルの入り口と出口にマットを置いて築山を丸ごとお家に変身させていました。トンネルの中は暗いので、秘密基地のような場所になり、ドキドキワクワクです。子どもたちによって遊び方や発想は様々で、築山を中心に遊びが広がっています。